

# 桜を描く —三熊派の流儀—

会期：令和5年3月18日(土)～5月28日(日)

前期展示期間：3月18日(土)～4月23日(日)・後期展示期間：4月26日(水)～5月28日(日)

休館日：火曜日 ※3月21日(火・祝)は臨時閉館いたします。3月22日(水)は休館いたします。  
 ※4月24日(月)は一部展示入替のため展示室はご観覧頂けません。展示入替の詳細についてはお問い合わせください。  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催期間や内容が変更になる場合があります。詳しくは当館HPでご確認ください。

## 笹部 新太郎 (ささべ・しんたろう) 明治20年～昭和53年 (1887～1978)

大阪市北区堂島生れ。大阪府立第一中学(現 北野高校)、第七高等学校(現 鹿児島大学)、東京帝国大学法科大学政治学科(現 東京大学法学部)を卒業。大学時代に桜への関心を持ち研究を始める。卒業後は、宝塚市武田尾に桜の演習林「亦楽山荘」や京都府向日町(現 京都府向日市)に苗圃を設け、生涯を通して桜の研究・保護を行った。昭和26年(1951)大阪市民文化賞を、同42年(1967)西宮市民文化賞を受賞した。

大阪造幣局の桜の通り抜けや、西宮市満池谷・甲山への桜の植樹・管理指導、岐阜県御母衣ダムの「荘川桜」移植指導など、全国的に桜の保護育成の活動を行った。また、一貫して桜と向き合った生き方をモデルに、作家水上勉が『櫻守』を著した。

生前に蒐集したコレクションは、美術工芸品、書画、花譜、名勝の古文献、絵図等から、実際に演習林などで使用していた接木用の切出刀、鋸に至るまで多種多様で、研究書は4,000冊を数え、100冊を超える覚書も残されている。著書に自伝『櫻男行状』がある。

江戸時代中後期の約60年間という短い期間に、「三熊派」という画派が京都を中心に活動しました。三熊思孝・三熊露香・広瀬花隠・織田瑟瑟という4人からなる三熊派は、桜のみを描くことを流儀とし、絵の道に邁進していきました。

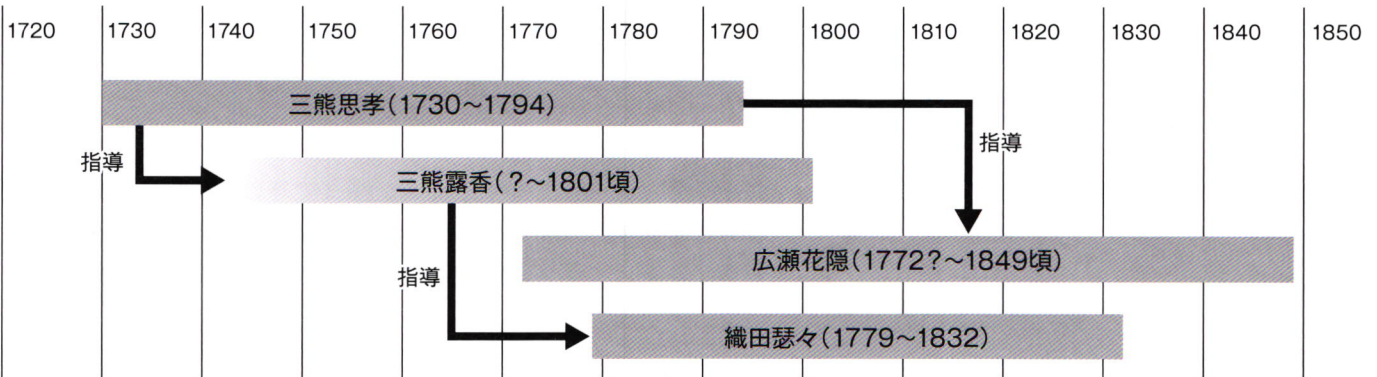
三熊派の始祖である思孝は、春になると桜を観察するために全国各地へ出かけ、その成果を活かして桜を描いたと言われていました。そうした思孝の姿勢は他の3人にも引き継がれ、細部まで丹念に描き込まれた桜画を遺しています。このように、持てる力の限りを尽くして桜を描いた三熊派の根本には、日本で古くから愛されてきた桜の美しさを、絵画という形で表現したいという思いがありました。

本展示では、三熊派の4人を見出し、絵に込めた桜の美しさについて、笹部さくらコレクションに収められた三熊派の掛軸からご紹介します。

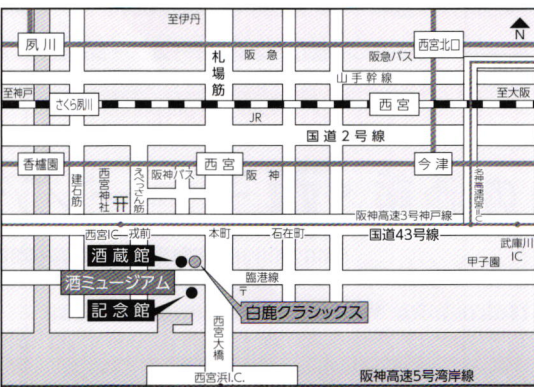


桜を眺める三熊思孝(『続近世畸人伝』より)

## ◆三熊派の系譜◆



※今橋理子『桜狂の譜』(青幻舎、2019)を参考に作図



**交通案内** 当館へは阪神電車西宮駅が最寄り駅となります。

- 阪神西宮駅より徒歩の場合、札場筋を南へ15分
- 阪神西宮駅よりバスをご利用の場合、約5分

◀ 阪神バス時刻表 ▶ マリナパーク方面行 阪神西宮南口→交通公園前

時間	平日・土曜・休日
10時～15時	2分/14分/26分/38分/50分

◀ 運賃/大人220円 ▶  
ICカードをご利用いただけます。  
交通公園前停留所下車南西へ徒歩1分

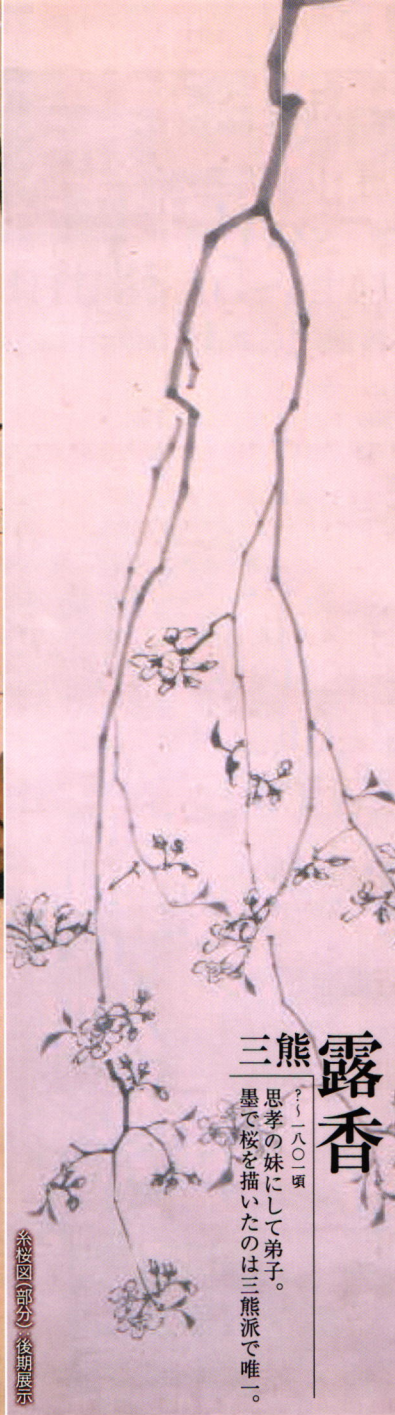
- 阪神西宮駅よりタクシーご利用の場合、約5分



### 織田 瑟々

一七七九～一八三二  
露香の弟子。桜の花・葉・幹を独自の表現で描いた女流画家。

異牡丹桜真図(部分)、後期展示



### 三熊 露香

一八一八～一八〇二頃  
思孝の妹にして弟子。墨で桜を描いたのは三熊派で唯一。

糸桜図(部分)、後期展示



### 三熊 思孝

一七三〇～一七九四  
日本ならではの画題として桜を専門に描いた三熊派の始祖。

桜図(部分)、前期展示



### 広瀬 花隠

一七二一～一八四九頃  
思孝の弟子。当時の朝廷からも認められた桜画の名手。

禁中左近桜図(部分)、前期展示

令和5年 春季展 笹部さくらコレクション

# 桜を描く

—三熊派の流儀—

令和5年 3月18日(土)～5月28日(日)

入館料 一般500円 中・小生250円 (団体割引 20人以上2割引) 記念館・酒蔵館共通  
65歳以上の西宮市民は証明書呈示で半額、ココロカード呈示者は無料

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 火曜日 [3月21日(火・祝)は臨時開館、3月22日(水)は休館いたします]  
[4月24日(月)は展示替えのため記念館展示室はご観覧いただけません]

お問い合わせ 白鹿記念酒造博物館 電話：0798-33-0008 <https://sake-museum.jp/>  
主催＝西宮市 / 公益財団法人白鹿記念酒造博物館 協賛＝西宮観光協会 後援＝西宮市教育委員会 / 歴史街道推進協議会



いたみもろはく きいっぼん  
『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』が、令和2年度日本遺産に認定されました。

## Painting Cherry Blossom Trees

—The Mikuma School's Painting Styles and Techniques—

桜を観察し、花・葉・枝・幹など細部に至るまで丹念に描き込まれた作品たち。江戸時代中後期の約60年間で古くから愛されてきた桜の美しさを絵画に表現したいと考え活動した「三熊派」の4人の画業をご紹介します。

Exhibit descriptions are also available in English.

市民優待日  
4/1(土)・4/2(日)、入館料 一般300円 中・小生 200円



その他、期間中のイベントにつきましては当館ホームページをご覧ください。

開催期間および内容が変更になる場合がございます。  
当館ホームページまたはお電話にて最新情報をご確認ください。

## 明治の酒蔵 酒ミュージアム

公益財団法人 白鹿記念酒造博物館 〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21  
TEL(0798)-33-0008(代) FAX(0798)-32-2790

Hakushika Memorial Museum of Sake

入館割引券 本券1枚につき1名、一般入館料を2割引

有効期間：令和5年3月18日(土)～5月28日(日)

入館割引券 本券1枚につき1名、一般入館料を2割引

有効期間：令和5年3月18日(土)～5月28日(日)

入館割引券 本券1枚につき1名、一般入館料を2割引

有効期間：令和5年3月18日(土)～5月28日(日)